



東日本大震災・被災地における子供・若者 やその家族を巡る支援の現状と課題

【御案内】

- ◇日時 平成27年3月18日（水）14：00～16：00
- ◇場所 中央合同庁舎8号館6階623会議室（別添地図参照）
- ◇主催 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付青少年企画担当
- ◇対象 国・地方公共団体や公的・民間の若者支援機関等において
子供・若者育成支援に携わっている方
- ◇内容 東日本大震災の復興は我が国の大きな課題であり、今後その
主役となるのは次代を担う子供・若者です。今回は東日本
大震災・被災地における子供・若者やその家族を巡る支
援の現状やその課題等について、3名の講師からお話をお
伺いします。

【プログラム】

13：30 ○受付

14：00 ○開会

テーマ1「被災地の放課後学校『コラボ・スクール』の取組」

講師：認定NPO法人カタリバ 東北復興事業部

コラボ・スクール 女川向学館シニアマネジャー

渡邊 洸（わたなべ こう）氏

テーマ2「震災孤児を養育する親族里親への支援」

講師：宮城県里親会会長

ト蔵 康行（ぼくら やすゆき）氏

テーマ3「被災子ども支援部門の取組」

講師：NPO法人ビーンズふくしま副理事長

鈴木 綾（すずき りょう）氏

○質疑応答

16：00 ○閉会

（注：テーマ等は現時点では仮題であり、後日に変更になることもあります。）

【お話を伺う団体のご紹介】

◇認定NPO法人カタリバ東北復興事業部コラボ・スクール

被災地で学習環境が悪化した子供たちが「震災があったから夢をあきらめた、志望校に行けなかった」という想いは絶対抱いてほしくないという願いから、子供たちに学習指導と心のケアを行っているのが、認定NPO法人カタリバが運営する「コラボ・スクール」。現在は未来の復興を支えるリーダーを養成する取り組みにも注力を始めています。

◇宮城県里親会

宮城県において、震災や様々な事情で親が養育できなくなった子供を養育する里親の委託促進や里親・里子同士の相談等に取り組んでいるほか、震災翌年から里親会の支援事業として県内各地で親族里親サロンを開催してきました。親族里親サロンは、東北大学大学院教育学研究科の「震災子ども支援室」との共催で県内児童相談所の協力を得ながら活動しています。

◇NPO法人ビーンズふくしま

被災子ども支援部門では、震災という課題に係る必要なサポートやケアを実施したり、その実施を展開する体制づくりに取り組んでいます。被災状況によって必要な支援は変わります。その段階に合わせた的確な支援を、これまで培ってきた経験やネットワーク力、それぞれのスタッフの専門性を活かしながら効果的に取り組んでいます。

【お申し込み方法（予約制／定員50名）※先着順】

1 お申し込み期限

平成27年3月17日（火）17：00 必着

（※参加の確定連絡はありませんので当日会場にお越し下さい。定員に達した場合は連絡いたします。）

2 お申し込み方法

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付「青少年企画担当」宛てに、御出席希望者の「①御所属、②御役職、③御芳名（ふりがな）、④御連絡先（連絡が取れるメールアドレスまたは電話番号）」を、電子メールか郵送により、以下申込先に御連絡願います（なるべく電子メールを御利用ください）。

○電子メールによる申込先～ youth@cao.go.jp

○郵送による申込先～〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1 中央合同庁舎 8号館 8階
内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付青少年企画担当宛て

3 お問い合わせ

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）青少年企画担当宛て

電話：03（6257）1440

***当日は、本チラシを印刷の上ご持参ください。**